

畜産

鹿児島島の畜産物は三つの黒



鹿児島黒牛



黒豚



黒さつま鶏



鹿児島肉と言えば「かごしま黒豚」ですが、平成29年9月7日から11日にかけて、全国の和牛王座を決定する「第11回全国和牛能力共進会」が宮城県で開催され、鹿児島県からは、県内の予選を勝ち抜いた30頭を出品し、9部門のうち4部門で1位を受賞するほか、出品した全ての牛が上位6位に入賞し「鹿児島黒牛」が栄えある総合優勝（団体賞）を獲得し「全国和牛チャンピオン」に輝きました。

また、鹿児島県畜産試験場が「黒」にこだわり誕生したのが「黒さつま鶏」です。

「全国和牛能力共進会」とは

和牛日本一を決めるため、5年に一度、各都道府県持ち回りで開催される和牛の品評会で、全国のブランド牛を一堂に集めてその優秀性を競う。審査は雄牛、雌牛の体型を審査する「種牛の部」と肉質を審査する「肉牛の部」があり、今回が第11回目。

次回大会は令和4年10月6日～10日に鹿児島県で開催予定。



第12回全国和牛能力共進会（鹿児島）マスコットキャラクター

「かごしまママ」



牛肉輸出拡大中！！

鹿児島黒牛は、最近では経済発展著しいアジアの各国でも人気が高まっており、輸出量はアジアや米国、EU向けが年々増加。（※輸出の際は、「KAGOSHIMA WAGYU」として、販売。）

